



校長の目 ～西小日々通信～

令和4年11月25日（金）



3年生が、総合的な学習の時間で世界の食卓について調べています。興味関心のある国を選んで、どんな食事をしているのか調べました。調べたことをポスターにまとめ、発表の準備を進めます。早い子は、すでにポスターが完成していて、発表原稿を書いています。ポスターを見ると様々な国旗が描かれていて、バラエティ豊かです。知っている料理もあれば、初めて聞く料理もあります。みんなよく調べています。海外の様々な国の文化を知ることは、国際社会に生きる上で大切なことです。今は机上での調べ学習ですが、ここで興味をもったことを将来の実体験につなげられると素晴らしいですね。



校庭からは、毎時間のように「がんばれー！」という声が聞こえてきます。体育では、ペース走記録会に向けて練習にも熱が入ってきました。写真は、2年生の様子です。クラスが半分が走り、半分は記録と応援です。ペース走は、その名の通り一定のペースを保って走る運動ですが、残り1分になると少しでも記録を伸ばそうとサポートをかける子が増えます。友達の懸命の応援に押されるように、最後まで全力で走りぬきます。記録が上がるとうれしそうです。



6年生は、理科で電気の学習をしていました。本時は、手回しモーターで発電し、豆電球やLED電球やブザーに電流を流し、その違いを確かめる実験です。豆電球は手回しモーターを逆回転させても明かりがつかますが、LED電球はそれができません。また、手回しモーターの回転速度によって明るさや音の大きさが変わります。このように、発電や蓄電、電気の変換について、電気の量や働きに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、電気の性質に迫ります。下学年での電気の学習は、主に電池を活用しましたが、6年生では自分で電気を作り出すので、そこが楽しさでもあります。発電については、古くは自転車のライト、最近では太陽光発電など、日常生活の中にもよく見られます。災害用グッズの中にも手回し発電で動くラジオや電灯などが販売されるようになりました。学習で学んだことが生活の中でどのように活かされているか、実感できることでしょう。

